

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：平成30年1月15日(月)
(2018年)

地域企業紹介 その 53

大沢工業株式会社

お客様のあらゆる 要望を実現させる マテハンのプロ集団!!

各種機械の設計製作を主業とする大沢工業株式会社の大沢孝史社長を相模原市上溝の本社工場に訪ねました。

大沢社長は埼玉県秩父市の生まれ、3歳の時に相模原市下溝へ移ってこられた。その後、地元相陽中学から東海大相模高校を経て東海大学生産機械工学科を卒業された。幼少のころから絵を描くことが好きな少年であり、そこには機械設計に繋がる必然性があったように思われる。高校時代は応援委員会(応援団)に所属、この時分に精神面や規律面が相当鍛えられたようだ。大学では機械工学の基本を学ぶと共にゴルフ部でプロ級の腕前になるなど文武両道の青春時代を過ごされた。大学卒業後は油圧機器関連企業で約1年半の外部勤務経験(機械製造会社)を経て同社へ入社された。

大沢孝史社長が代表取締役役に就任したのは2004年11月。大手印刷会社をメイン取引先に持ちながら自社の安定的な成長を目指し新たな事業展開へのチャレンジを続けている。そんな大沢社長は永年蓄えてきた技術やノウハウを武器に3つの事業を柱としている。一つ目は同社の真骨頂でもある「他社にない機械の創造」事業である。ロータリー式家電用部品自動組立装置や電気部品自動供給装置など多種多様な開発事例を有する。二つ目はマテリアルハンドリング(マテハン)技術を最大限に活かした「食の安全搬送システム」事業。各商品に固有の識別符号を付け規律設定することで、商品を一個単位で管理できるオリジナル搬送システムを構築し、コンプライアンス強化をはじめフードテロから危機管理の意識向上といった課題解決を実現するもの。三つ目はロボット導入のための「システムインテグレーター」として、ロボットを使った設備の提案から製作までを行う事業。既に相模原市内のロボット導入企業に対し、顧客ニーズに基づく最適なシステム構築実績を有している。

一口にロボット導入による自動化・省人化と言っても、本来、人間のやっている技術をそのままロボットへ移行できるものでもない。また、お客様の要望通りにすることが仕事ではなく、その要望の裏に隠れている問題や課題を見抜き、最適なシステムを構築することが重要。時にはお客様の要望を覆してしまうこともあるとか。「ロボットはあくまでも部品の一つ、ロボットを効果的に働かせるためには周辺装置が大事であり、最適なロボットシステムを構築するシステムインテグレーターの役割がとても重要だ」と大沢社長は語る。

(2面につづく)

大沢工業株式会社
代表取締役 大沢 孝史 (おおさわ たかし)
所在地：相模原市中央区上溝 1923-1
従業員数：12名 資本金：1000万円 売上高：2.5億円
事業内容：工場等の自動化 (FACTORY AUTOMATION) に必要な
物流システムの設計、制作及び設置、自動化機械及び
省力化機械の設計製作、特定労働者派遣事業
URL：<http://www.oosawa.co.jp/>



そんな中、S I Cが相模原市から受託しているロボット導入支援事業では、「ロボット導入支援センター」内に設置されたパラレルリンク型ロボット(デモ機)のシステム構築において同社の技術・ノウハウを投入して頂いた。

その他、中小企業・大学研究機関・金融機関・行政や支援機関が連携するロボットビジネス推進のための地域プラットフォームとして、ロボット産業の振興やビジネス支援に取り組む「さがみはらロボットビジネス協議会」にも積極的に参画し、地域産業の活性化に貢献している。

あらためて、半世紀にわたる業歴を有する同社が「信頼」される理由は大きく3つある。お客様のニーズを聞き、隠れている課題までも的確に捉え、最適な提案をする「創造力」。マテハンのプロとして蓄えられた技術・ノウハウなどを駆使して迅速かつ最適な設備・システムを提供する「設計力」。思惑通りにいかない場合、迅速に手を加えて問題を解決し、最適な状態にする「対応力」だ。

今後、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少が予測される中、生産拠点や物流拠点内における自動化・省人化は喫緊の課題となっている。そうした課題などに対して「ヒアリング(打ち合わせ)

⇒設計⇒制作⇒組立⇒設置⇒アフターフォロー」までを大沢工業一社で完結させる「装置一貫生産システム」は、お客様の細かなニーズにも対応でき、間接費も掛らずコストを抑えられることが他社にない同社の大きな強みだ。「お客様から喜んでもらえる設備・システムの提供」をモットーに自信をもって対応している同社は、まさにマテハンのプロ集団である。

同社は平成26年度の「もの補助(中小企業庁)」採択に続き、平成28年度中小企業経営支援等対策費補助金(ロボット導入促進事業のためのシステムインテグレーター育成事業:経済産業省)に採択された。相模原市内ではシステムインテグレーターの数が不足している状況とのこと。そんな中、ロボット導入・自動化・省人化を促進する上で極めて大事な「システムインテグレーター育成」の先導役としても同社の果たす役割は大きい。地域産業の活性化に貢献する大沢工業はマテハンのプロ集団として、次の50年に向けて確実に前進を続けている。

注) マテリアルハンドリング: マテハン=運搬管理: 原材料・製品・部材などの運搬・管理を効果的に行うための技術や手法。

「地球規模の取り組みを支えるために」

HKT株式会社

大型車両の圧縮空気/負圧/油圧/天然ガス/冷却水の切替用電磁弁を主要製品として ディーゼルエンジン用のグロープラグや排気の後処理装置などを製造・販売しているHKT株式会社 企画室研究グループ主事の井上博史さんにお話を伺いました。



取り扱う製品は、ブレーキやエンジンなどに使用される電磁弁をはじめ、圧力、音、熱などにかかわる部品で、本社工場の他、台湾、フィリピン、タイでも生産されています。ラボでの業務は、これからさらに広がっていく環境負荷低減に対する地球規模の取り組みを支えるため、排気ガス中の有害物質除去に関する大手企業との新技術の共同研究で得られた知見を活かし、実用化を目指した製品開発を進めています。

大学時代「菌」について学び、4年生の時に人口心臓弁に使用する菌が付着しない表面処理技術の研究をされていた井上さんは、その後の進路にそれまでとは路線の違うものづくり企業の同社に入社されました。「大手企業での出向期間に取り組んだ世

界初の排気ガス浄化装置に関する研究成果を一日でも早く市場に打ち出していきたい。また、その先では大学時代に学んだバイオ・化学分野の観点からゼロ・エミッションを最終目標として、エコ社会に貢献する開発をやっていきたい。」と井上さんは物静かながらも熱い思いを話して下さいました。



HKT株式会社 本社社屋

HKT株式会社 企画室 研究グループ
S I C-1 104号室
<http://www.hkt-jp.com/>

年頭挨拶

新年のスタートにあたり、年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年、国内では14歳棋士、藤井四段が29連勝の新記録を樹立し、眞子様が婚約を発表、陸上100メートルの桐生選手が9.98秒の日本記録をマークしました。また、長崎生まれの日系イギリス人であるカズオ・イシグロ氏がノーベル文学賞を受賞するなど明るいニュースが多かったように感じます。

そのような中、昨年秋には、SIC-3入居企業の株式会社ジャパン・アドバンスト・ケミカルズが、半導体等の高機能材料の開発に向けた薄膜成膜技術に関する企業の様々なニーズに対応できる研究開発用成膜プラットフォームを開発し、神奈川県工業技術大賞でビジネス賞を受賞。同じくSIC-3入居企業である株式会社レボックスも「平成29年度九都府市のきらりと光る産業技術」で表彰されるなど大変うれしいニュースがありました。

そして、今年の幕開けは、相模原市内にキャンパスを持つ「青山学院大学」が正月恒例の箱根駅伝で見事4連覇を達成し、13年ぶりの偉業を成し遂げました。一方、わずか5秒届かず10区目前で“襷”を繋げなかった国学院大学の熊耳選手の無念さや優勝は出来なかったものの箱根駅伝という大舞台でひたむきに走る各選手の姿に感動をされた方も多かったと思います。いずれも優勝を目指す強い信念はもちろん、チームメイトとの連帯意識や自分自身の役割責任を果たそうとする使命感が強く感じられました。そこには人間の無限の可能性に向かってフェアにチャレンジする“人”ならではの感動のドラマが存在しています。だからこそ、100年も続く人気スポーツ競技会となっているのでしょう。

さて、今年はどうなるのでしょうか。諸外国、特にアジア圏新興国の経済成長が顕著である中、我が国は少子化に伴う人口減少が予測されています。また、これから数十年の間にはシンギュラリティやルナリング、サイボーグの時代が来るとも言われ、同時に人の価値観や欲求も大きく変わり、その変化するスピードもさらに加速度を増していくと思われまます。以前にも増して時代の変化を的確に捉え、10年20年先を見据えながら自社の強みを活かした事業構想を構築していくことが極めて大切になるでしょう。

さがみはら産業創造センター（SIC）は平成11年の創立以来、多くの方々を支えられ現在に至っております。今年で19年目となり、長年にわたりSICをご支援くださる方々に心より感謝御礼申し上げます。

来年は創業20年目となる節目の年を迎えます。改めて、ビジネスインキュベーション施設として、経営サポート事業・人材育成事業・地域連携事業等を通じ、創業間もない事業者をはじめ、入居企業並びに地域企業の皆様の成長発展に寄与できるようSICスタッフ一丸となって事業活動に取り組んでまいります。本年も相変わらぬご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、新しい年が皆様にとりまして更なる「成長発展」の年となりますことをご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

株式会社 さがみはら産業創造センター
代表取締役 **橋元 雅敏**



蕎亭 喜峰庵 (きょうてい きほうあん)

橋本駅から徒歩15分、創業35年のこだわりの蕎麦を打つお店があります。磐梯山のソバを塩山御影鐵巢石の自家製石臼で挽き、鹿児島県垂水の温泉水、そして伝統の技で打つ手打蕎麦は絶品です。個室は、新年会や忘年会、お客様をお連れするお店としてもお勧めです。女将さん自らもてなしてくれる鴨寿喜鍋や懐かしい「蕎麦がき」もいただけます。賑やかな(うるさい?)SICスタッフの忘年会もOKでした!

相模原市中央区宮下本町3-40-5
TEL.042-774-8971
<http://www.kihouan.com/index.html>

営業時間 11:00~15:00 / 17:00~21:00
定休日 毎週月曜日(第二、第四月・火は連休)
※10名以上の宴会は、送迎無料。



鴨寿喜鍋



SAGATUKU NAVI. サガツクナビ



地元密着型採用(就職)支援サービス「サガツクナビ」は、さがみはら産業創造センターの人材事業の一環として平成26年度よりサービスを開始しました。“地元企業の採用の円滑化”と“地元で働きたい学生の就職の円滑化”を目指して、神奈川県県央地域と東京都多摩地域をフィールドに定め、地元企業の魅力を伝えるイベントとインターネットでの企業情報の発信の両輪で地元企業と学生の出会いの場を創出し、新卒採用(就職)のサポートを行っています。

● 企業向けイベント開催予定です。

我が社の採用活動を考える勉強会のご案内



いまどきの大学生や就活生の本音を聞くとともに、大学就職課との情報交換、交流を通じて、平成30年3月1日解禁となる2019年3月卒業採用に向けた準備に活かしていただけます。



第1回の様子
(平成29年
12月12日開催)

第2回 就職課との上手な付き合い方 日程:平成30年1月23日(火)

内容:就職課やキャリアセンターの現状、効果的な求人情報の発信方法、地元企業への就職ニーズの実際など、就職課職員ならではの情報を披露していただきます。

第3回 就活生の体験を聞く 日程:平成30年2月7日(水)

内容:地元就活者3名を含む就活経験者5名が、就活の実際、就活で困ったこと、企業への要望などを経験者ならではの視点で、本音ベースでお伝えいたします。

JOB MEETS 合同就職説明会 ジョブミーツ! JM

採用活動中の地元の優良企業が集まり、少人数で企業の生の声をじっくり聞ける地域密着型の合同就職説明会として、学生に「たくさんの企業と話をしよう!」と呼びかけています。

○参加した学生の声

中小企業さんの情報はどう集めたらいいのかわからず動く事ができなかったのですが、本日地元の企業さんとお話する事ができて良かったです。スタートが良かったです。

JM14th 日程:平成30年3月 8日(木)

JM15th 日程:平成30年3月23日(金)

JM16th 日程:平成30年4月20日(金)



学生と企業の交流会 4th JT ジョブトーク! JOB TALK 社長の話を聞こう!

「採用のプロセスは?」「どのような学生を求めているの?」「採用、不採用の基準は?」など、就職活動を控えた学生が抱える疑問や不安を解消するとともに、「企業選びの基準は?」「どんな仕事をしたい?」など経営者や採用担当者が抱える疑問について、相互理解を深めることを通じて、双方にとって意味ある就職活動や採用活動につながることを目的に実施します。

日程:平成30年2月28日(水)

内容:①参加企業紹介、②参加企業への質問タイム、
③企業と学生のグループトーク、④フリートーク

● 学生向けイベントを開催しました。

就活体験談を聞く会
日程:平成30年1月11日(木)
内容:「何から始めればいいのか?」「何をしたいかわからない!」などの疑問や不安を抱えている学生を対象に、就職活動を終えた先輩5名の体験談を聞いていただきました。

2018.1 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

- 1月23日(火) サガツクナビ「我が社の採用を考える勉強会(第二回)」
- 2月1日(木)・2月2日(金) 川崎国際環境技術展2018出展
- 2月6日(火)・13日(火)・20日(火)・22日(木)・27日(火)
ロボットシステムインテグレート養成講座(第1回~第4回)
- 2月7日(水) サガツクナビ「我が社の採用を考える勉強会(第三回)」
- 2月7日(水)~9日(金) テクニカルショウヨコハマ2018出展
- 2月14日(水) 第18回 経営者セミナー
- 2月22日(木) Robot Seminar 操作教育セミナー
- 2月28日(水) サガツクナビ「ジョブトーク」
- 3月8日(木)・23日(金)・4月20日(金) サガツクナビ「ジョブミーツ」

knock! knock! 入居企業を募集しています。

SIC空室情報 (平成30年1月15日 現在) ※お気軽にお問い合わせください。

部 屋	空室数	賃料/月額 (共益費込・消費税抜き)
SIC-1 ○スモールオフィスA (23.6㎡)	1	78,700円
○スモールオフィスB (17.3㎡)	4	64,200円
SIC-2 空室はありません	-	-
SIC-3 空室はありません	-	-

● 会員企業を募集しています。



<情報掲示板(WEBサイト):
サガツクナビ企業情報・求人情報のTOP画面>

WEBサイトを通じた自社情報や求人情報の発信、採用や自社PRにつなげるための各種イベントにご参加いただけます。

さらに、就職課やキャリアセンター、就活生などから仕入れた情報など、採用活動に関するお役立ち情報を随時お届けいたします。

※サガツクナビの利用にあたっては、別途費用を頂戴しております。お問い合わせ、掲載希望、参加希望など、担当者までご連絡ください。詳細についてご説明に伺います。

詳しくは、SICホームページをご覧ください。
<http://www.sic-sagamihara.jp>

編集後記

あけまして おめでとうございます
本年もよろしくお願い申し上げます



平成30年、干支は戌(つちのえ・いぬ)。干支の中でも類を見ない程はっきりと盛衰が分かれる年だそうです。新しい年が皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます。
本年も「SICかわらばん」をよろしくお願いいたします。



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を
お待ちしております。

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>